



平成19年10月19日

各位

会社名 コンドーテック株式会社  
代表者 代表取締役社長 菅原 昭  
(コード番号 7438 東証・大証第2部)  
問合せ先 取締役管理本部長 安藤 朋也  
(Tel (06) 6582 - 8441)

平成20年3月期 中間・通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間及び通期業績予想につきまして、平成19年5月10日発表の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	15,902	997	992	560
今回修正予想(B)	15,405	841	843	483
増減額(B-A)	496	156	148	77
増減率(%)	3.1%	15.7%	15.0%	13.9%
(ご参考)前年中間期実績 (平成19年3月中間期)	14,583	926	916	531

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	32,825	2,183	2,171	1,236
今回修正予想(B)	32,328	1,872	1,868	1,069
増減額(B-A)	496	311	303	166
増減率(%)	1.5%	14.3%	14.0%	13.5%
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	30,237	1,980	2,008	1,119

## 2. 修正の理由

### (1) 中間期

売上高は販売力及び生産力の強化を図り、売上増に努めましたが、耐震偽装の再発を防ぐため建築確認審査を厳しくした改正建築基準法が本年6月20日に施行され、建築確認申請の手控えや審査の長期化により、鉄骨造をはじめとする建築物の着工は停滞し、当初予想をわずかながら下回る見込みであります。

一方、利益面につきましても、鋼材をはじめとする原材料価格の上昇、廉価な輸入品の台頭に加えて、確認申請業務の停滞で7~9月の需要が急減し、一段と価格競争が激化したことにより、売上総利益率が低下し、営業利益、経常利益、中間純利益は当初予想を下回る見込みであります。

### (2) 通期

通期につきましては、鉄骨造をはじめとする建築物の着工は本年度後半も大幅な増加が見込めないと判断し、上記中間期の業績予想の修正を反映し、下方修正しております。

上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上

投函場所： 兜倶楽部、大証記者クラブ